

【年間テーマ 抑制を少しでも減らせるようにする】

平成 27 年 12 月 27 日提出

日付	平成 27 年 12 月 12 日 (土)			
場所	福岡ビル		記録者名：永野聡子	
出席者 (敬称略)	金隈病院 宇都宮 千恵	広瀬病院 甲斐 美穂	北九州津屋崎病院 吉田 千鶴美	福西会病院 前田 弓子
	新小倉病院 西 耕一	津屋崎病院 大塚 陽子	戸畑健和病院 三口 賢治	松尾内科病院 笠 陽子
	北九州古賀病院 永野 聡子			
テーマ	4 本柵、ミトン使用の現状報告とナースコールの対応、スピーチロックに関して			
結論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 本柵を使用しているところは、9 病院中 5 病院、全く使用していないは 4 病院だった ・ ミトン着用は、経鼻経管中はほとんどの病院が使用している ・ スピーチロックについては、研修が少なく実際抑制になるという認識がない ・ ナースコールの対応においては鳴ったらすぐに行くことが原則 			
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 本柵を使用する事が安全・安心か。抑制をするという意識の低下 ・ スタッフ間で何が出来るか検討する。担当だけでなくスタッフを多くまきこむ事が必要 ・ 経鼻経管栄養剤注入時のミトンについては、クリニカルパスに沿って使用し必ず観察している。注入中の見守りは徹底する ・ ミトン使用に関してスタッフ間でも意見が分かれることがある 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックにおいては接遇と大きく関連しており研修に参加していく ・うまくいかなかった事例を参照し検証する
備考	<p><4本柵を使用していない病院のとりくみ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・低床ベッドにする ・床にマットを敷く ・ベッドセンサー・マットの使用 ・報告書の提出 ・患者の訴えを傾聴する ・職員の意識を高める（4本柵がなぜいけないかという意見もある） ・抑制ラウンドで理由、対策を追求する
次回討論項目	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で話し合った事、今後の方向性を模造紙に作成し発表する <p>抑制（4本柵・ミトン・ナースコール・スピーチロック）</p>

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@fukuokakenryo.jp

(FAX.092-691-3961)